## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の	有無 無 ▼		電話 042	2 ( 769 ) 8345
担当部課名	保健所    ▼	地域保健	課 ▼	母子保	健企画  班 ▼
事務事業名	未熟児養育事業			<b>事業コード</b>	12220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 2 章	生涯にわたる健康づくりを進めます。	事業開始年度		
基本施策名	第 2 節	市民健康づくりの推進	12 🗕 任府		
施策名	第 2 施策	保健サービスの充実	「		

2 実施根拠及び関連法令等

母子保健法第19条、第20条

## 3 事業概要

(1)事業の目的 (2)対象(誰、何) 出生体重が2000g以下、 出生体重が2000g以下、もしくは身体の機能が未熟の状態で生まれ、医師が入院 養育を必要と認めた乳児に対して、家族の経済的負担の軽減及び乳児の健全発育育成を┃もしくは身体の機能が未 図るため、諸機能を得るまでに必要な入院医療にかかる費用を、保護者に代わり相模 熟の状態で生まれ、医師 原市が公費負担する制度で、母子保健法に基づき、医療費等の給付及び訪問指導を実 |が入院養育を必要と認め 対象 施する。 291人 数 (3)平成13年度事業の内容 (4)総合計画・実施計画における概要 母子保健法に基づき、未熟児の養育医療の給付及び訪 なし 問指導を実施した。 ・申請数 291件 · 給付数 466件 ・決算額 歳出 需用費 8,085円 (5)個別計画の概要 役務費 34,434円 計画名 扶助費 56,507,444円 計画年次 年度~ 年度 合 計 56,549,963円 歳入 国庫 22,619,197円

4 評価指標

自己負担金

7,556,552円

指標名		
指標式		
指標設定 の意図		

5 目標と実績 (金額単位:千円)

								( <u>w</u>
	/	平成11年度	平成12年度 平成13年度(評価対象年度)			平成14年度		
		実績	実績	実績		目標		目標
	指標			а		b		
	指標			С		d		
	指標			е		f		
	決算 (予算)額	0	32,139		56,550		56,550	52,129
事	人員・時間数	0	0.25人		0.25人		0.25人	0.25人
業	人 件 費	0	2,105		2,105		2,105	2,105
弄費	その他経費	0	0		0		0	0
	合 計	0	34,244		58,655		58,655	54,234
	特定財源		9,874		22,620		22,620	20,500

## 6 個別評価

0 1回別計									
(1)達成度	ē・・・目標をどれだけ過	達成しただ	<b>)</b> \						
評価	A:達成している	(	100%)						
A <b>V</b>		•	· 00%)	= ,	· 0)-	トレンコ	旦 —		
	C:達成していない	( 80%>	)						
а	100		С		100			_e	
b	× 100=	=			−× 100=	=		<u>f</u> × 100=	
	制度内の数値をもって	日煙とする	<u> </u>	ブけたい				1	
理由:	向近くの数値をひりて	ロルこり		/ CIA/AV 10					
垤田.									
(2) V = 4	ᆎᄼᅕᄱᆄᅕ	1 <del>1 = 1</del> 1 .	± 1 + 1 + 1						
	t···時代変化に適応								
評価	A:適応している	」理由:	保護者の	経済的負担0	り軽減、	福祉	の増え	<b>進に寄与しているとともに、少子化対策</b>	
A 🔻	B:一部適応していない		の一環と	して本制度の	存在意義	義は	大きじ		
	C : 適応していない								
(3)経済性	₺∙効率性・・・費用対交	果は妥う	<u></u> 当か						
	A:妥当である			出に努めてい	١, ٦				
A1 1M4	B:一部妥当でない	<u>т</u> щ.	造正 多文	шсэос	100				
	C: 妥当でない	1							
(4) 声光 4		しての年に	 	1 ナ か 2 日 オ	+**	<del>}/-</del>   -	<b>アレ</b> ソ/	ー ト 大小女 ハ ナ	
	)代替性・・・県、民間の					旭し	( ) I \	ことが過ヨか	
評価	A:代替の可能性ない	↓ 埋田:	県から移り	官された事業	である。				
A <b>▼</b>	B:代替の可能性低い	_							
	C:代替の可能性高い								
(5)市民流	<b>ま</b> 足度・・・対象市民の	満足は得	られてい	る <u>か</u>	-				
評価	A:満足できる	理由:	該当児に	対して雑費を	除〈費月	日をす	「べて	給付対象としている。	
	B: 一部満足できない			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1011521	, _ ,		WH 1 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	C:満足できない	-							
(6) 左动脉		の旅筅を	中田オス	トで左がか					
	±・・・当該事業は上位				하므스	<b>=</b>	- BB I	マ 田 4 + 計 旧 + 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2	
評価	A:有効である	」理由:						して一貫した未熟児対策であるこの事業	
A   <b>▼</b>	B:一部有効である	4	は、乳幼!	児の将米にわ	たる健全	<b>E</b> なf	育成の	)ために大変有効である。	
	C:有効でない								
=亚/平 バ	*ニンフィ	成度			成果向	]上σ.	)余地	}	
計1川/へ	『ランスチャート <sup>』</sup> A.							説明:	
						あ	る	制度上の成果向上の余地はない。	
	<b>/</b> B	\ \					_		
	有効性		必要性		✓	な	L١		
	C	1	<u> </u>		1.		• -		
		$\star$			コスト	ム羊/	수+#		
		1			コストロ	X 告 /	大地		
	/ c	+	<u> </u>			_	_	説明:	
	市民満足度		经溶性	·効率性		あ	る	担当職員数も最小限度であり、業務の	
	В	+ /	// // // // // // // // // // // // //	70-11				電算システム化も進めており、これ以上	
					✓	な	L١	の改善の余地はない。	
	A	¥				_			
	事業	の代替性							
7 4公△≒亚/					ı				
7 総合評(	<u>щ</u> I	Ī	ㅁ. :+ ^	に甘べ/生中	ナンハブ・	力がで	5 <del>/</del> 51-1-	+ 学 (+ か) )	
	AAA ▼		问一法令	た基づく制度	かのこ	小谷!	اكالداه	は左はない。	
+m /m	7000	他自治							
評価		体の類							
		似事業							
		との比							
<u>^</u>	後の進め方	較							
	•	┧'``							
✓	継続	-	ナムルエ	****** \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	日ウにハ	41 123	<del>-</del>	・4性4キープロン	
		-	マム以下	ころというなり、ア	況止に仏	EVIル	到下に	継続していく。	
	見 直 し								
	廃止	説明							
1		_							
	完 了								
8二次評価における変更点									
8 次評11	山にの17る交叉元								